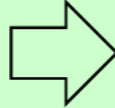


畑地かんがい用水を活用したきんかん及び露地野菜栽培の省力化と 収量・品質向上の取組 ～内山金柑園～

経営体の概要

事業実施前：平成22年
基幹作物：きんかん、キャベツ等
作付面積：8.6ha
労働力：常時3名、雇用12名



現在：平成29年
基幹作物：きんかん、かんしょ等
作付面積：8.0ha
労働力：常時3名、雇用12名

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成22年度の国営事業完了後、平成24年の関連事業着手を契機にハウスを導入し、ハウスきんかん栽培を開始しており、平成27年には、そのハウスに畑地かんがい用水が通水している。

国営事業で確保された畑地かんがい用水を活用し、現在ではきんかん、かんしょ等を生産するなど、儲かる農業を実践している。また、その用水の活用により、きんかんの単収・品質の向上が図られ、平成22年からオンラインショップも開設し、きんかん栽培開始時から販売金額も徐々に増加しており、大規模生産者として成長してきている。

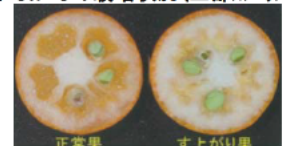
営農改善のポイント

①作物の変化

以前は葉たばこを栽培していたが、販売価格の低迷や連作障害の発生により規模を縮小し、平成24年からきんかん栽培を開始した。それと同時にかんしょ、さといも、キャベツ等も栽培してきているが、労働者の高齢化や通水を契機に品目の見直しを行い、畑地かんがい用水を活用すれば収量・収益が増加する労働生産性の高いきんかん、かんしょ等へ移行している。



きんかんの栽培状況(上部スプリッター)



きんかんのす上がり防止効果



オンラインショップのHP

②単収・品質の向上

きんかん栽培では、畑地かんがい用水を活用した適切な土壌水分管理により、果実肥大、す上がり防止、ハダニ発生抑制等の効果が得られており、単収及び品質の向上に繋がっている。

③流通・販売の工夫

JAへの出荷及びハウスに隣接した直売所の販売に加え、オンラインショップを開設したところ、全国から注文が入っている。今後はJA出荷2割、直売所5割、ネット販売3割を目指している。

事業概要

事業種：畑地帯水源整備事業
関係市町：都城市、三股町
受益面積：3,966ha
事業期間：昭和62年度～平成22年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：ダム1カ所、頭首工1カ所、導水路9.6km
ファームポンド18カ所、揚水機場7カ所
加圧機場3カ所、用水路137.1km

位置図(宮崎県)



<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
電話：096-211-9111
(内線：4773)

(平成30年度調査時点)